

9月29日 第11回 LNG産消会議
経済産業大臣 冒頭スピーチ

1. はじめに

- 経済産業省大臣の西村康稔です。本日、LNG産消会議は、2012年の第1回から数えて、第11回目を迎えました。
- この会合は、エネルギー・環境関連の国際会議を集中的に開催する「東京GXウィーク」の一環をなすものであります。「東京GXウィーク」は、脱炭素と経済の成長・発展につなげるGX（グリーントランスフォーメーション）の実現を目的としております。
- 世界のエネルギー市場が大きな混乱にある中で、本日LNG産消会議を開催できたことは、生産国・消費国、LNGに関わるすべての皆様のお力によって成し遂げられたものです。皆様のサポートに日本政府を代表して心よりの御礼を申し上げます。
- そして、LNG産消会議を第1回から日本とともに支えていただいている、カタールのアル・カアビー エネルギー担当国務大臣、IEAのファティ・ビロル事務局長、本年も事前にメッセージを寄せて頂いた各国の閣僚の皆様、企業・関係機関のリーダーの皆様、ご協力いただいた全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

- 2022 年は、エネルギー価格の高騰などにより、世界中でエネルギー安定供給について危機感を感じていると思っております。とりわけ、LNG・天然ガスについては、共通の課題があると感じております。
- 昨年、10 年目の大きな節目を終え、第 11 回目として、新たなスタートになる LNG 産消会議が、世界の「分断」ではなく「協調」のきっかけとなり、世界のエネルギー安定供給につながって欲しいという強い願いを込め、本年のテーマを“Reorganizing LNG for World Energy Security”と題しました。

2. 会議開催の背景

- 日本はこれまで、今後増大するエネルギー需要を、より低炭素なエネルギーで支えなければならないアジア地域において、LNG の導入が欠かせない手段であると訴えてきました。
- しかし、足下アジアでは、市場価格の高騰により、LNG・天然ガスの購入がままならず、石炭や石油に回帰する現象が見られます。生活基盤となる電気・ガスが十分に行き届かない事態も発生しており、脱炭素化を遅らせているのみならず、貧困からの脱却が遅れていく大きな懸念があります。

- 透明で流動性の高いLNG・天然ガス市場が、何よりのエネルギーの安定供給につながり、エネルギートランジションを通じた世界の「協調」を生むのだと信じ、これまでLNG産消会議を重ねてまいりました。今、LNGの供給不足が、世界経済の分断を煽るのではないかと強い危惧を持っています。
- 本来、エネルギー、特にLNGは、国と国、官と民を繋げるものであり、それは、「分断」ではなく、「協調」を示すものであると信じております。
- 2011年に発生した東日本大震災後、日本では、稼働停止した原子力発電の減少分をLNGが支え、それは生産国からの緊急の追加供給や消費国からの融通、また、官民の協働により実現しました。そして、今年の2月には我が国は、ガス不足に苦しむ欧州諸国へLNGの融通を実現しました。

3. 3つの取組の紹介

- 本日の会議では、日本から、この「協調」の精神に基づく3つの取組を紹介させていただきます。
- 1つ目は、国と国による協調です。エネルギートランジションには、LNGの導入が必要不可欠であり、安定供給に関して同じ悩みと、同じ志を持つアジアの国との新たな協力関係を発表いたします。

- 2つ目は、日本の官民による協調です。LNGの安定供給のためにはLNG取引に対する公的支援が必要なことは言うに及びません。JBICをはじめとした日本の公的金融機関は、日本政府の方針と国際合意とも協調し、日本企業のLNG調達そのものへの支援を通し、日本の安定供給を支えてまいります。それはひいてはアジアにおけるLNGの安定供給にも貢献するものと信じております。
- 3つ目に国境を越えた民と民の協調です。世界的なLNGの取扱量を誇り、LNG市場をリードする日本のJERAと、LNGがますます重要になるドイツ企業のUniper（ユニパー）がLNGの調達協力とその意義を発表します。このLNGの調達協力は、LNGに留まらず、将来のアンモニア調達の協力を含んでおり、LNGや石炭の「トランジション」を実現するためのものでもあります。
- 日本はこの輪を更に広げ、LNGへの投資や安定供給の重要性に共感していただける各国の皆さんや国際機関にも加わってほしいと考えております。ぜひこの後の、スペシャル・セッションを楽しみにしていただきます。

4. 終わりに

- 今年のLNG産消会議も、皆様のご支援と世界のリーダーたちからのメッセージで彩られました。これは、新しい「協調」への皆様の期待の象徴だと、私は信じております。
- そして、この会議が、LNG・天然ガス危機を乗り越える大きな一歩となることを強く期待します。どうもありがとうございました。

令和4年9月29日

経済産業省 大臣 西村 康稔